

お知らせ

2019(平成 31)年 2 月 18 日午前 9 時より、青森県庁並びに青森地域広域事務組合消防本部において、「平成 30 年度青森県災害対策本部図上訓練」が開催され、当協会青森支部(気田福俊 支部長)が参加しました。

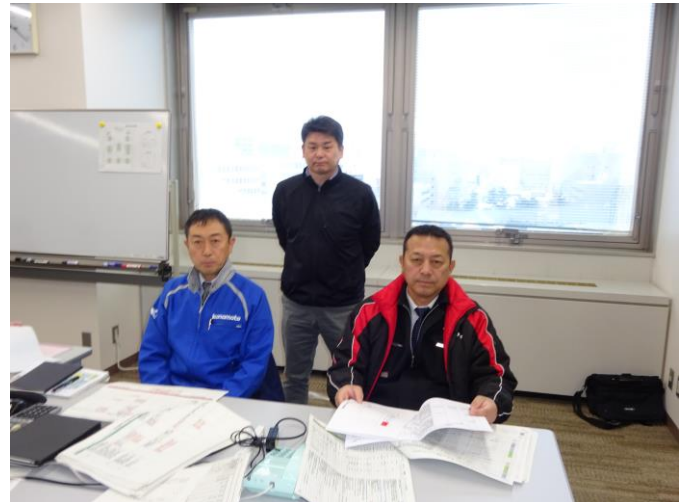
同訓練は、熊本地震や北海道胆振東部地震などの実事案を基とした訓練を行うことで、他地域からの援助を受け入れる、受援業務を中心とした各種調整能力の向上を図るとともに、災害対策本部の運営に係る、各種マニュアルの課題を洗い出し、県の災害対応能力の向上を図ることを目的としています。

当日は、『8 時 30 分頃に青森県津軽北部を震源とする M6.7 の地震が発生し、青森市で震度 6 強を観測したこと』を想定した訓練が行われ、当協会青森支部をはじめする参加機関がコントローラーとなり、ロールプレイング方式による図上訓練が行われました。

訓練では、発災時に“各災害現場に適した資機材をスムーズに提供”できるよう、当協会青森支部会員から青森県職員に対し、各資機材についての丁寧な説明が行われました。



総監の三村申吾 青森県知事



参加した、青森支部会員の皆さん



訓練の様相①



訓練の様相②